

<金標準、円安を受けて 9000 円を固める値動き・・・>



(出所：オアシス)

ジャクソンホール会議を終えて、先週末の雇用統計へ話題性が移行した中で米国雇用動態調査（JOLTS）の求人件数が 2021 年 3 月以来の 882 万 7000 件と低水準になり、ADP 雇用者数でも前回の 37 万 1000 件と事前予想の 19 万 5000 件を下回るなど、FRB の「より高く、より長く」の金利観測が後退している。そのため NY 金は金利低下の恩恵を受けて 1950 ドルを回復し、週末の雇用統計では非農業部門就業者数が事前予想を上回る 18.7 万人増となったが、失業率は 3.8%へ上昇するなど金利抑制を受けて 1980 ドルまで上昇している。

また金標準先物は 9131 円まで高値を追うなど、円安の恩恵を受けて上昇している。特に年初来、主要通貨建ての金価格では、ドル建てが 7.2%、ポンド建てが 1.8%、ユーロ建ては 5.3%の上昇を行なっているが、円建ては 18.3%と円安の恩恵を受けて大きく上昇しており、この流れは日銀の金融政策の変更が起こるまで続く可能性は高いと思われる。そのため 9000 円を固める値動きと思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD や RCI では、MACD は **MACD** が上昇し、**シグナル**も上昇している。また RCI は**短期**が高値を維持しながら、**長期**が上昇を続けており、オシレーターでは強気の域と見る事が妥当に思え、9000 円以下は買いの対応が妥当と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 3,220,000 円(2023 年 9 月 4 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 87,120 円(2023 年 9 月 4 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>